



（北海道せたな町）：せたな町ゼロカーボンシティ推進事業

事業計画の特徴

- せたな町が有する豊富な再エネ資源を活かしながら町の将来像である「地域エネルギーの地産・地消でまちづくり」の実現に向けて、
- ・公共施設へは、**太陽光発電設備、蓄電池、公用車へのEV車等の導入**により、電気・化石燃料使用量削減に伴う温室効果ガス排出量の削減、及び災害時のレジリエンス強化を図る。
 - ・個人及び町内事業者へは、補助制度を創設し、**自家消費型太陽光発電設備、蓄電池、EV車等、ZEH・ZEB設備の導入拡大**を図る。

事業の工夫・波及効果

- ・町民の皆様が脱炭素にむけて自分ごととして取り組んでいけるよう、町内外の様々な分野の方々と構成する「せたな町ゼロカーボン推進協議会」や環境学習等の場を活用して**情報発信・理解醸成**を行う。
- ・本事業の取り組みを通じて、町内産業の活性化に向けた体制づくりや**脱炭素に向けて協働する人材育成**にもつなげていく。
- ・遊休地への太陽光発電設備の導入により、**地域共生型再エネ導入実績を活かして、風力の地域脱炭素化促進事業の実現**へつなげる。

事業計画の概要（民間）

再エネ：2,120kW

取組	規模
町内住宅への太陽光発電、蓄電池等の導入補助	・ 340件 ・ 2,000kW
町内のEV車等購入補助によるゼロカーボンドライブの促進	・ 72台
町内住宅・事業場への太陽光発電設置を含むZEH・ZEB化誘導に対する補助	・ ZEH:20件 ・ ZEB:1件 ・ 120kW

事業計画の概要（公共）

再エネ：3,011kW

取組	規模
公共施設への太陽光発電、蓄電池等の導入	・ 17カ所 ・ 1,011kW
公用車のEV車等への切り替えによるゼロカーボンドライブの促進	・ 25台
公共施設への再エネ電力供給に向けた町内遊休地（促進区域）への太陽光発電導入	・ 2カ所 ・ 2,000kW

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	事業費	交付金額	計画期間
5,131kW	61,559 t-CO2	20億円	10億円	令和6年度 ～ 令和10年度

取組のイメージ

